

平成18年度病害虫発生予報第11号(2月予報)

<お知らせ> ◎県広報番組「うまんちゅひろば」放送のお知らせがあります(裏表紙参照)。

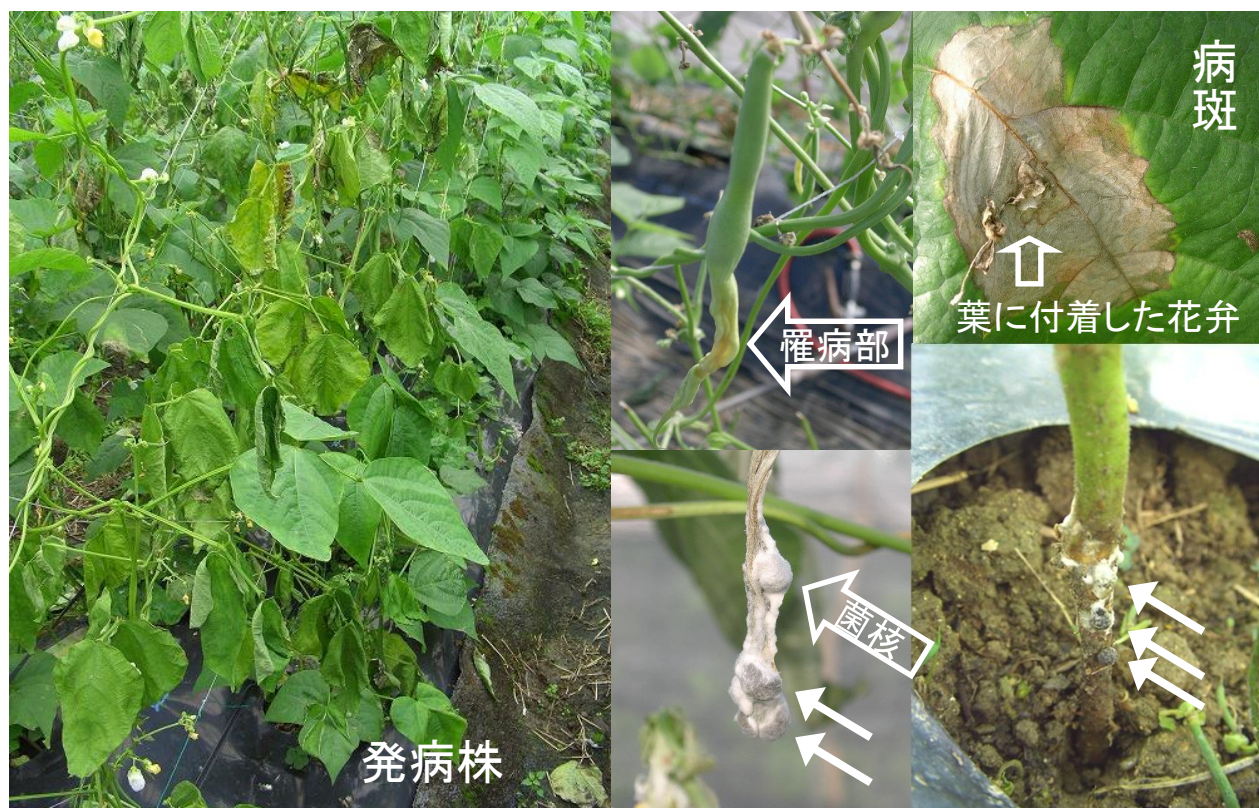
◎注意報第3号(トマト・トマト黄化葉巻病)を発表しました(別添参照)。

今月のトピックス

<http://www3.pref.okinawa.jp/site/view/cateview.jsp?cateid=119>

菌核病 (さやいんげん)

学名 : *Sclerotinia sclerotiorum*



生態と被害

本病菌は寄主範囲が広く、多くの野菜・花き類を侵す重要病害である。さやいんげんにおいては落下した罹病花卉等が茎、葉、莢に付着することにより発病する。初期症状として水浸状の病斑をつくり、白色のカビを生じ、やがて黒色でネズミの糞状の菌核を形成する。多湿および窒素過多により発病が助長される。土に落ちた菌核は翌年の伝染源となる。菌核は土壤中で5～6年以上生存する。

☆ 予報の見方 ☆

- 1) 発生予察情報は、前月の調査に基づき発生程度が「並」以上の病害虫を中心に掲載しています。「やや少」以下の病害虫については通常掲載していません。
- 2) 「発生程度」は平年との比較を示しています。そのため、毎年その月で高い数値が続いた場合には、その月の「発生程度」は密度が高くて「並」として発表されます。前月との多少の比較はグラフを参考にしてください。

平成19年2月1日

沖縄県病害虫防除技術センター